

SPIRITのリニューアル

1. 概要

2016年度にメディアセンターの運営する学内ポータルサイト「SPIRIT」 (<https://spirit.rikkyo.ac.jp>) のリニューアルを実施した。具体的には、これまで大学公式サイト（以下公式サイト）内 (<http://www.rikkyo.ac.jp>) で展開していた学生・教職員等の学内者向けページをSPIRITに移行した。これにより、長年の課題であった学外者向け情報の大学公式サイト、学内者向け情報をSPIRITに集約することで、サイトの機能を棲み分けすることができた。しかし、一部2016年度内の移行を見送ったページもあったため、それらの移行を2017年に対応した。

公式サイトとSPIRITの更新業務についても、2016年度よりメディアセンター・Webチームが担当することとなったが、各部局からの更新依頼の受付方法を改善することにより、業務の可視化と効率化を実現した。

また、新たに立教時間から投稿されたお知らせをSPIRIT内にも表示するための連携パーツを実装し、SPIRITの情報発信機能を強化した。

さらに、留学生向けのサービスを向上するための施策として、SPIRITの英語化に向けた準備を進めた。具体的には、自動翻訳システムを導入し機能検証を進めた。

2. 2017年度にSPIRIT内に移行・新規作成したページ

- (1). 学生部 (https://spirit.rikkyo.ac.jp/student_affairs/)
- (2). キャリアセンター (<https://spirit.rikkyo.ac.jp/career/>)
- (3). 立教サービスラーニングセンター (<https://spirit.rikkyo.ac.jp/rsl/>)
- (4). 太刀川記念上大崎交流会館 (https://spirit.rikkyo.ac.jp/tachikawa_kamiosaki/)
- (5). 立教セカンドステージ大学 (<https://spirit.rikkyo.ac.jp/secondstage/>)
- (6). 立教大学陸前高田サテライト (<https://spirit.rikkyo.ac.jp/rikutaka/>)
- (7). 立教学院健康保険組合 (<https://spirit.rikkyo.ac.jp/kenpo/>)
- (8). 社会情報教育研究センター (<https://spirit.rikkyo.ac.jp/csi/>)

2018年度にはグローバル教育センターページの移行と新規で広報課ページを作成する予定である。

3. 更新・修正依頼受付方法の改善

これまで他部局からの公式サイト・SPIRITの更新・修正依頼をメールで受け付けていたが、管理が煩雑であり抜け漏れも発生してしまうなどの課題を抱えていた。そこで、更新・修正依頼の受付方法をメールからGoogleフォームへと変更することで課題

解決を図った。Googleフォーム上で入力された情報は、プロジェクト管理ツール「Backlog」にも自動登録されるようシステムの連携を図った。Backlog上で各依頼の担当者の割り当てや進捗状況を管理することができ、業務の効率化と可視化を実現することができた。

4. 立教時間のお知らせ機能との連携

立教時間 (<https://portfolio.rikkyo.ac.jp/>) から投稿されたお知らせをSPIRITでも表示するための連携パーツを実装した。連携パーツは任意のページに埋め込むことが可能であり、カテゴリーを指定することにより特定の部局のお知らせのみを表示することもできる。また、立教時間で指定された公開範囲も引き継いでいるため、特定の学年の学生やV-CampusIDをもつユーザーだけが閲覧できるよう設定することもできる。



図1：立教時間から投稿されたお知らせ

5. 自動翻訳システムの機能検証

日本語能力が十分備わっていない留学生のためにSPIRITの英語対応を実現するよう国際化推進機構より要望があった。これを受けて英語対応方法を検討した結果、導入・運用コストの低い自動翻訳システムを導入することとした。

数社のサービスを比較検討した結果、翻訳管理機能が充実しているクロスランゲージ社の「WEB-Transer@ホームページ」を採用することとした。2017年度内に機能検証を実施し、2018年6月にリリースを予定している。